

2019年10月1日

専務執行役員（健康づくり計画推進責任者） 逆井洋紀

当社は、以下のとおり、健康経営を推進することを社内外に宣言します。

『当社は、従業員の心身の健康を大切にし、一人ひとりが個性や能力を發揮できる環境と機会を創出します。幸せの輪を広げ、事業活動を通じて医療や福祉に貢献するとともによりよい社会の実現に寄与します。』

1. 良い仕事と充実した生活は「健康」から

我々は当社で働く全ての従業員が、活き活きと自由闊達に働き、パフォーマンスを最大限に發揮し自己実現を果たしている姿の実現を追求します。心身共に健康であることは、その土台です。健康であってこそ、生産性や業績の向上、イノベーション、社会への貢献、そしてそれらを通じた企業の発展への取り組みを進めることができます。

こうした考えのもと、従業員の健康の維持向上を経営の重要な課題と位置づけ、『日本メジフィジックス健康経営宣言』を制定しました。

2. 心身の健康づくり計画

これまでから、健診項目の充実、健康相談室の設置、全事業所をカバーする産業医体制の構築、メンタルヘルス教育や健診後のフォローなど、健康施策の充実・強化に取り組んできました。

健康経営宣言のもと、これをさらに充実させ、従業員の健康の維持向上と活気のある職場づくりを目指して「心身の健康づくり計画」を策定します。

この計画では、従業員自らが健康について理解し、個人と組織のレベルで疾病の予防や健康維持・増進に積極的に取り組めるよう、心身の健康づくりの具体的な活動を定めます。次の4点を重点的に取り組みます。

- ① 健康管理
- ② 疾病予防
- ③ メンタルヘルス
- ④ 安全衛生活動

3. 推進体制

部門担当役員のもと、各部門、各部署で主体的に推進します。総務人事担当役員が健康づくり計画推進責任者として、各部門や産業医、健康相談室と密接に連携しながら、従業員の健康にかかわる状況を適切に把握し、全社的に健康増進施策を展開していきます。

4. 最後に

こうした健康の維持・増進のための施策と並行して、業務効率化や働き方改革によるワークライフバランスの改善、ダイバーシティ・女性の活躍推進にも積極的に取り組んでいきます。

従業員の皆さん一人ひとりが、高い使命感をもって、持てる力を存分に發揮し、全社一丸となって諸課題を克服し、20年後の目指す姿の実現に向けて、邁進していきましょう。